

令和3年度
事業報告

公益財団法人
黒部市吉田科学館振興協会

令和3年度（2021年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- ・ 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場
- ・ 自然の神秘に感動し創造の喜びを知る場
- ・ 広く市民の科学・文化活動の場
- ・ 新しい教育方針に基づく教育補助活動の場
- ・ 市民参画による生涯活動の場

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和3年度（2021年度）の主な事業内容

- ・ 企画展及びオリジナルプラネタリウム番組（統一テーマ：「地図」）

企画展「地図のつくりかた」～伊能図完成から200周年～

（期間：7月17日～9月5日、11月19日～翌年1月23日）

オリジナルプラネタリウム番組

「ねこのエマ脱走中～準天頂衛星みちびきに見つかるニャ!?～」

（期間：7月17日～翌年3月31日）

- ・ トイレ改修工事（便器洋式化、段差解消等）（1月24日～2月28日）

- ・ 基本方針の改定

検討会議4回（3月3日運営委員会にて協議、3月31日理事会にて決議）

改定方針

- （1） 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- （2） 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- （3） 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民と共につくる
- （4） 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- （5） 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

(1) 日常の科学

① 講座体験事業

・サイエンスショー（常時開催）



「電気のみしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日1回、土日祝日2回、毎回15～20分程度）。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため、席数を減らして、密を避けるなどの方策をとりながら、「もののみしぎ」（4月）、「電気のみしぎ」（5～8月）、「熱のみしぎ」（9～12月）、「力と運動のみしぎ」（1～3月）の計4つのテーマをもとにサイエンスショーを展開した。実演終了後、詳しく実験内容を聞きに来る参加者の姿がしばしば見受けられた。

・団体用工作教室



「ベンハムのコマ」作成の様子

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間30分～1時間で8種類の工作から選んでもらい、「かさ袋ロケット」の1団体、「ベンハムのコマ」の2団体、「惑星キーホルダー」の計5団体で実施した。

対象年齢を考慮した工作の選択肢を用意したことで、子どもたちから完成の達成感を感じられ、喜びの音が聞かれた。

② 展示事業

・児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を9月から10月にかけて開催した。暮らしを便利にするための工夫をこらした作品や、長年の研究の成果をまとめた研究作品などが展示された。



写真左：第16回少年少女発明くふう展

写真右：第16回黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会

(2) 地域の科学

①プラネタリウムドーム事業

- ・立山黒部ジオパーク映画「^{けん}剣の山」



プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」を上映している。また、市内全小学校の6年生に対し、地元の自然について学ぶ機会を設けるため、学習投映を実施した。上映前にはジオパークについて職員が解説した。学習投影のアンケートでは、山の隆起や、称名滝に関する言及が多く見られ、児童たちに対し大地の変化について印象付けられていることがわかった。

剣の山学習投映 10回 379名

②講座・体験事業

- ・ジオ&みずはくツアーの実施



写真：ジオ&みずはくツアー
「扇状地の春を散策しよう」(3月13日実施)

黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、ボランティアガイドと共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地の水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験させた。令和3年度は、感染症対策として定員を15名とし、季節に合わせて全5回実施した。自然や文化に関心を持つ参加者が多く、熱心に質問する様子が見られた。

- ・ジオパーク自然教室



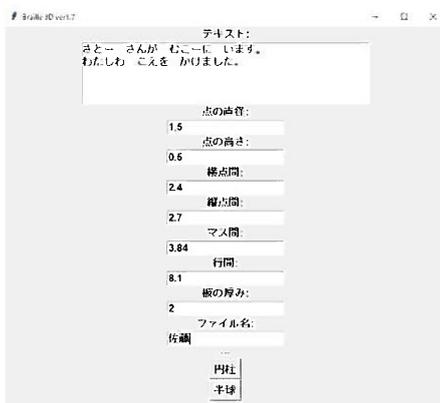
写真：ジオパーク自然教室
「川の生き物たちと親しもう」(8月1日実施)

立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク自然教室」を実施した。本教室を年5回実施し、生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験させた。令和3年度は、感染症対策として定員を20名とし、全5回実施した。参加者が熱心に自然を観察する様子が見られた。満員となった回もあるため、令和4年度は時間を短縮させた上で回数を増やして実施し、より多くの申込を受け入れられるようにする。

③調査研究事業

・“Braille 3D”の開発（監修：福島県立視覚支援学校）

点字の 3D モデルを自動的に作成するデスクトップアプリケーション“Braille 3D”を当館で開発した。本ソフトで作成した 3D モデルは、そのまま 3D プリンターで出力できるほか、ほかの 3D モデルと組み合わせての出力もできる。福島県立視覚支援学校の協力の下、3D プリンターで出力した点字の点読のテストを行った。常設展や令和 4 年度の特別展では、本アプリケーションを利用し、ユニバーサルデザインの展示を作製する。また、ほかの教育機関や個人でも利用できるように、公式ウェブサイトでも公開した。現に、福島県立視覚支援学校で活用されており、全盲の先生でも模型を識別しやすいとの声を受け取っている。



Braille 3D の GUI



Braille 3D で作成した 3D モデル（上）、
3D プリントされた点字（下）



DNA らせん構造模型に点字を組み合わせた例（福島県立視覚支援学校より）



磐梯山の地形模型に点字を組み合わせた例（福島県立視覚支援学校より）

・学会発表

地学教育学会全国大会と天文教育研究会において、研究発表を行った。地学教育学会では、3D プリンターで作製した様々な展示や活用方法について紹介した。天文教育研究会では、天文学と地球科学をコラボさせた取り組みとして、当館のオリジナル番組を紹介した。

(3) 宇宙の科学

①プラネタリウムドーム事業

・オリジナル番組の制作・投映

「ねこのエマ脱走中～準天頂衛星みちびきに見つかるニャ!?～」 (対象：小学4年生～)

制作：令和3年

投映期間：令和3年7月17日～令和4年3月31日

内容：天気予報や衛星放送など、私たちの生活と深い関わりのある人工衛星。

様々な人工衛星の中から、特に日本が打ち上げた準天頂衛星「みちびき」に注目し、カーナビなどで利用されている衛星測位の仕組みを紹介する番組。(オリジナル番組 32 作目)



・サブクリプションの投映番組

「ポケットモンスター オーロラからのメッセージ」(子ども番組)

期間：令和3年5月1日～令和4年3月31日

内容：物語の中でオーロラのメカニズムを学べるとともに、オーロラの疑似体験ができる番組。



「それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～」(子ども番組)

期間：令和3年5月1日～令和3年9月30日

内容：登場人物とともに、星にはいろいろな色があること、空にもいろいろな色があることを学ぶ番組。



「ラビくんのうちゅうりょこう」(子ども番組)

期間：令和3年10月1日～令和4年3月31日

内容：登場人物とともに、バスに乗って太陽系の惑星をめぐる番組。



「THE MOON 月のふしぎ」(科学番組)

期間：令和3年10月1日～令和4年3月31日

内容：小学校理科で取り扱われる「月」の学習内容について紹介した番組。



「恐竜の記憶」(科学番組)

期間：令和3年7月17日～令和3年12月28日

内容：国立科学博物館が収蔵する、恐竜骨格標本の三次元デジタルによって作り出された立体感ある映像で恐竜の生態を紹介した番組。



「Telescope 宇宙への扉」(科学番組)

期間：令和4年1月5日～令和4年3月31日

内容：人類が初めて望遠鏡を夜空に向けてから約400年。望遠鏡観測から始まる天文史を紹介した番組。



その他

「月夜のふしぎな物語～カノンの水辺の仲間たち～」(オリジナル番組) 令和3年4月1日～7月17日

「モジャコの旅～富山湾の不思議な水～」(オリジナル番組) 令和3年5月1日～9月30日

「Feel the Earth ～ Music by 葉加瀬太郎～」 令和3年4月1日～7月17日

・学習投映

幼稚園・保育園、小・中学校の理科教育の一環として学習投映を行った。小学4年生の学習投映、中学3年生の学習投映では、学習指導要領に基づいた内容を、職員による生解説で投映した。幼児投映では、夏の星空や七夕に関する物語を解説した。投映終了後、希望する学校にサイエンスショーを実施し、プラネタリウム以外のメニューも楽しんでもらった。

実績

幼稚園・保育園幼児投映	6回	(6団体)
小学4年生学習投映	17回	(15校)
中学3年生学習投映	4回	(2校)
(内、サイエンスショー見学団体	9団体)	

・プラネタリウムドーム多目的利用

利用者の多様化を目的に、ドームを多目的利用するイベントを実施した。具体的には、大人を対象に音楽メインとしたヒーリングプログラム(癒しのプラネタリウム、熟睡プラネタリウム)や、小さなお子さんとその親御さんの利用促進を目的としたベビープラネタリウムを開催した。

ベビープラネタリウムでは、お子さんたちが投映中に泣いても大丈夫である旨を伝え、気軽にプラネタリウムを楽しんでもらう機会になるよう、試行的に開催した。参加者からは「また参加したい」という意見が寄せられた。



ベビープラネタリウム
(7月28日実施)
イベントの説明及び館紹介の様子

②講座・体験事業

・天文教室の実施

月1回の天文教室のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。5月の皆既月食、11月の部分月食ではご自宅で天文現象を気軽に楽しめるよう、YouTubeでのライブ中継を行なった。



5月26日 皆既月食ライブ中継
(視聴回数 1,865回)

③デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

・デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

オリジナルプラネタリウム番組「ねこのエマ脱走中」では、人工衛星が身近な存在であることを感じてもらうため、番組の舞台には生地浜、魚の駅、共同洗い場等の身近な場所を選び、カーナビやスマホのような馴染みのある機器を例にした。さらにネコやイヌ、ウミネコ等の動物を登場させ、幅広い年齢層が興味を持てるようにした。可愛いネコの活躍を期待した子どもには人工衛星の解説は難しいのでは？と危惧したが、途中で退室することもなく静かに見てもらえた。

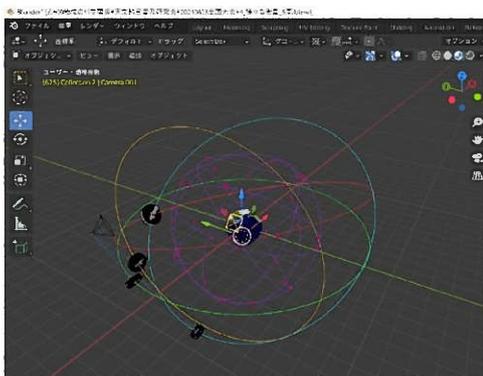
また、天球上で実際の人工衛星の動きを再現することで番組に科学的な説得力を持たせたり（下記の「人工衛星軌道の3Dアニメーション作成技術の開発」を参照）、緯度の違いによる北極星の高さの変化を体感してもらうことで、大人の知的好奇心も満たすことができるような番組を目指した。

番組内のネコのキャラクターは、共通のテーマで開催した企画展の展示解説役としても登場し、プラネタリウムドームへも誘導することで、企画展とあわせて番組を見てもらえるように工夫した。さらに企画展との両面チラシを制作して呉東地区の全小学校へ配布し、投映を開始した7月は例年より多くの観覧者が訪れた。（※）

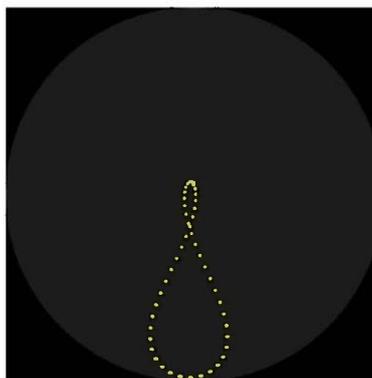
※7月のオリジナル番組の観覧者数…令和元年：301人、令和2年：162人、令和3年：533人

・人工衛星軌道の3Dアニメーション作成技術の開発

人工衛星の二行軌道要素を基に、3DCGソフトウェアのBlenderで3Dアニメーションを作成するスクリプトを開発した。本スクリプトでは、指定した日時、および観測地の緯度経度を基に、実際の人工衛星の位置が反映される。オリジナルプラネタリウム番組「ねこのエマ脱走中」では、本アニメーションを用いて準天頂衛星みちびきやGPS衛星、国際宇宙ステーションの運動を示した。



宇宙空間から見たみちびきとGPS衛星の軌道



地上から見たみちびきの軌道

(4) 特別事業

①企画展「地図のつくりかた」

～伊能図完成から 200 周年～

(7月17日～8月17日、11月21日～1月23日)

企画展では、「測量」をテーマとし、江戸時代から現代までの、測量の歴史としくみを紹介した。2020年度の特別展と比較すると、大人がじっくりとパネルを読む様子が見られた。また、測量体験コーナーでは、小学生と大人と一緒に展示を楽しんでいる様子が見られた。土日祝日に解説を担当した地域学芸員と来館者がコミュニケーションを取っている様子も見られた。

7月17日～8月17日の土日祝日のみ、企画展の観覧者数を実測しており、来館者数が計2053人であるのに対し観覧者数は769人であった(37%)。大人向けの印象を与えるテーマであったが、当初の予想より多くの来館者が観覧したように見受けられる。令和4年度は、動線などの問題点を改善し、来館者数に占める企画展の観覧者数の割合を増やせるように努める。



企画展の全体の様子



測量体験コーナー

②科学館ウィーク☆2021

(11月19日～12月5日実施)

科学館の3つのコンセプトをテーマに、イベントを開催。昨年度同様、来館者の密を避けるため開催期間を2週間に延長し、イベントを分散して行なった。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、スタンプラリー、抽選イベントなどを実施した。昨年度は自館の企画のみで開催したが、今年度は外部団体と連携しながら、数多くのイベントを開催することができた。期間中の延べ参加者数が、前身のイベントである「科学館まつり」参加者人数に近づきつつある。次年度は外部団体との連携を拡大しながら、参加者増に努めたい。



イベントチラシ

③連携事業

・他施設との連携事業

黒部市美術館「蜃気楼か。」展の連携イベントとして、展示制作にまつわる話を美術館学芸員、魚津埋没林博物館学芸員にお話しいただいた。また、蜃気楼の仕組みについての話や、蜃気楼の実験なども実施した。



蜃気楼実験風景

その他、黒部市国際文化センター「コラーレ」の「ワールドフェスティバル」との連携イベント「アルゼンチンの星空の物語」や、黒部市スポーツ課との連携企画として、東京 2020 オリンピック・パラリンピックで縁のあるインドについて、展示やプラネタリウム、講演会などのイベントを開催した。他施設との連携によって、事業の幅を広げることができた。また、普段とは異なる利用者層への集客が期待されるため、今後も引き続き連携事業を開催していきたい。



オリンピック関連展示前で記念撮影する団体客

・ 課外授業の受け入れ

県内高等学校のフィールドワークの一環として、当館でプラネタリウム番組作成体験や、天体望遠鏡の操作指導を行なった。プラネタリウム番組作成では、プログラミングソフトを使って、グループごとに番組制作を行い、プラネタリウムドームで成果を発表した。これまで小学生を対象に開催してきたプラネタリウム制作体験を、今回初めて高校生を対象に実施した。学校側からは好評の声があったため、今後も幅広く児童・生徒に活用してもらえるよう工夫していきたい。



プラネタリウム番組作成の様子

受け入れ実績

- ・ 6月1日 黒部市立村椿小学校 3年生
総合的な学習の時間（科学館見学）
- ・ 12月8日 富山県立入善高等学校 2年生（20名）
課外授業（プラネタリウム番組作成及び成果発表会、天体望遠鏡操作指導）
- ・ 3月16日 富山県立高岡高等学校 1年生（19名）
課外授業（黒部の岩石鉱物についての講義、剣の山鑑賞）

・ 講師派遣

黒部市立生地小学校での総合的な学習の時間「考えよう、住みよい生地」の学習の一環として、生地の清水調査の指導を行なった。清水による水質の違いを知るため、4か所の清水を巡り、水温、水量、pHについて機器等を使っての調査を行なった。その他、手を水につけて水温推測や、味の違いの体感など、実際に体験しながら湧水の違いを感じてもらった。この体験を通して、地元の「宝」である「清水」を大切にしていける気持ちが芽生えることを期待したい。



生地小学校 総合的な学習の時間での清水調査

講師派遣実績

- ・ 10月19日 黒部市立桜井小学校
5年生の遠足での実地説明（境川河口での化石探し）
- ・ 10月28日 立山黒部ジオパーク協会
ジオガイドスキルアップ研修(黒部川扇状地の水循環)
- ・ 11月2日 黒部市立生地小学校
「総合的な学習の時間」への協力（清水調査）
- ・ 12月7日 黒部市立清明中学校
「1学年 総合的な学習の時間」への協力(黒部の名水についての講演会)

④インターネットを使った動画配信

・天文現象のライブ中継

5月26日の皆既月食、11月19日の部分月食の様子を科学館 YouTube チャンネルにてライブ中継した。昨年度開催した日食のライブ中継に比べると視聴回数は少ないが、実際の対面開催での受け入れ人数をはるかに上回る多くの方に視聴していただけた。



部分月食ライブ中継

5月26日 皆既月食（曇り） 視聴回数 1,865回
11月19日 部分月食（晴れ） 視聴回数 485回

・科学館紹介動画の無償公開

コロナの影響による休館や、トイレ改修のための休館期間を使って、サイエンスショーの紹介動画を撮影し、YouTubeにて公開した。

ちょこっとサイエンス（計9本） 視聴回数 357回



ちょこっとサイエンス

令和3年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業 ※自/共…自主事業、共催事業の略

事業名	期間	自/共	内容	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比
講座 体験 学習 事業	工作教室	自	親子工作教室	5回 175人	—	4回 61人	—
		自	工作教室(学校行事等の利用)	10回 294人	9回 247人	8回 179人	72.5%
		共	黒部少年少女発明クラブ	10回 184人	14回 146人	17回 134人	91.8%
	サイエンスショー	自	もののふしぎ/電気のふしぎ/熱のふしぎ/力と運動のふしぎ	247回 5,174人	237回 3,283人	243回 4,275人	130.2%
展示 事業	展示	共	魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回 1,181人	1回 452人	1回 837人	185.2%
		共	第16回黒部市少年少女発明くふう展	1回 1,486人	1回 1,218人	1回 885人	72.7%
		共	第16回黒部市小・中学校児童生徒科学作品展	1回 902人	1回 761人	1回 582人	76.5%
	令和元年度/令和2年度		村椿科学工作クラブ 折り紙ヒコーキ工作教室 あこやへのDE体験の風をおこそう!(あこやへの主催)	9回 51人 1回 86人 2回 521人			
のべ利用者数合計				10,054人	7,481人	6,953人	92.9%

地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比
講座 体験 事業	ジオパーク関連事業	自	ジオパーク自然教室	5回 127人	5回 62人	5回 73人	117.7%
		自	ジオ&みずはくツアー-2021	4回 83人	5回 50人	5回 60人	120.0%
		共	くるべ水の少年団	7回 199人	4回 41人	4回 54人	131.7%
展示 事業	展示	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	2回 686人	2回 1,244人	1回 1,297人	104.3%
		共	自然写真愛好会・美写者写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	1回 4,195人	—	1回 2,259人	—
		共	自然写真愛好会・美写者写真展「花鳥風月と富山の水」展	1回 752人	1回 671人	1回 984人	146.6%
		共	巡回写真展「すばらしい自然を」	1回 1,046人	1回 1,310人	1回 2,327人	177.6%
令和元年度/令和2年度			巡回写真展「富士フィルムフォトコンテスト」 黒部川調査隊(黒部川水のコンサート&フェスティバル事業)	1回 1,562人 1回 18人			
のべ利用者数合計				8,668人	3,378人	7,054人	208.8%

宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比
プラネ タリウ ムの ドーム 事業	プラネタリウムの 多目的 利用	自	一般放映および学習放映など(放映日数:205日) (大人:5,249人 高校・大学生:293人 子供:7,125人 合計:12,667人) (孫とおでかけ事業含む)	760回 15,626人	412回 6,508人	532回 12,667人	194.6%
			◆一般放映	観覧料 1,556,010円	観覧料 613,270円	観覧料 1,306,770円	213.1%
			子ども番組	208回 6,827人	116回 2,084人	136回 5,638人	270.5%
			ヒーリング番組	—	67回 927人	26回 495人	53.4%
			オリジナル番組	129回 1,926人	75回 1,006人	118回 1,898人	188.7%
			オリジナル再番組	45回 279人	39回 417人	64回 581人	139.3%
			職員生解説番組	103回 1,922人	5回 106人	49回 840人	792.5%
			立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	167回 1,671人	63回 637人	36回 655人	102.8%
			科学番組	67回 1,285人	15回 55人	68回 1,402人	2549.1%
			オリジナルプラネタリウムフェスティバル	12回 351人	8回 261人	8回 110人	42.1%
			◆学習放映(小学4年生)	15回 700人	16回 548人	17回 563人	102.7%
			◆学習放映(中学3年生)	5回 355人	4回 340人	4回 362人	106.5%
			◆幼児放映	9回 310人	4回 127人	6回 123人	96.9%
講座 体験 事業	天文普及事業	自	癒しのプラネタリウム	2回 72人	2回 42人	1回 33人	78.6%
		自	ベビープラネタリウム	—	—	2回 52人	—
		自	熟睡プラネタリウム	2回 270人	2回 94人	1回 17人	18.1%
展示 事業	展示	自	天文教室	12回 851人	9回 173人	10回 215人	124.3%
		自	初めての天体望遠鏡教室	1回 21人	1回 3人	1回 25人	833.3%
		共	星空トロッコ	1回 49人	—	1回 42人	—
令和元年度/令和2年度			マタニティプラネタリウム キッズぶらね 星空の下でアロマ自力整体 石田小学校天文クラブ 名水の里くるべこども自然体験村(黒部市) 爆笑!星兄プラネタリウムショー 星と音楽の夕べ 灯台まつり	2回 100人 4回 214人 1回 14人 9回 91人 1回 60人 2回 212人 1回 75人 1回 35人	2回 134人 1回 52人		
のべ利用者数合計				17,690人	7,006人	18,448人	263.3%

特別事業

事業名	期間	自/共	内容	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比	
企画展	7/17~9/9・11/19~1/23	自	企画展「地図のつくりかた」～伊能図完成から200周年～			1回	7,210人	
展示	～5/5	自	ミニ展示「くらべてみよう！黒部の鉄道」		1回	780人	282.1%	
	7/22～8/9	共	「ナマステ！インドアッチャー！アーチェリー」展			1回	2,469人	
講演会	7/25	自	講演会「世界は立山黒部とつながっている～とくにインド・ヒマラヤとの共通性～」			1回	25人	
GWイベント	5/2	共	割りばしライダー			1回	167人	
	5/3～4	自	地球ゴマ			2回	196人	
お盆イベント	8/14～15	自	ベンハムのコマづくり			2回	70人	
プラネタリウム	10/30	自	黒部市美術館関連企画「宇宙の中のインフィニティ」			1回	8人	
	3/12～13	自	カラー連携企画癒しのプラネ「アルゼンチンの星空の物語」			2回	52人	
科学館ウィーク	11/28	自	お楽しみ抽選会			1回	516人	
	11/27～28	共	オリジナル石けんづくり・ウェルカムボードづくり			2回	984人	
	12/4	自	石ころマップをつくろう			1回	56人	
	12/5	自	クリスマスリースをつくろう	1回	80人	1回	88人	90.9%
	11/19～12/5	自	スタンプラリー			1回	486人	
令和元年度／令和2年度			企画展「月のふしぎ」	1回	10,453人			
			企画展「星空ウォーカー 遠くをのぞくと昔がわかる!?」	1回	7,574人			
			企画展「月のふしぎ」関連イベントクイズラリー	1回	292人			
			オリジナルプラネタリウム番組ポスター展～平成をふりかえる～	1回	6,745人			
			GW イベント工作	3回	208人			
			星座早見盤づくり	3回	174人			
			GW JAFイベント	1回	248人			
			GW カプトムシの幼虫プレゼント	1回	184人			
			施設巡りバスツアー	1回	36人			
			お盆イベント工作	4回	355人			
			オリジナル番組人気投票	1回	1,843人			
			夏休み！黒部市6館スタンプラリー	1回	126人			
			ジオパーク交流企画(萩ジオパーク)	1回	10人			
			くるべフェア(ジオサイエンスショー)	2回	313人			
			ジオサイエンスショー	6回	324人			
			講演会「屋気楼研究の最前線～日本屋気楼協議会の軌跡～」	1回	35人			
			オーロラ上映&トークライブ	2回	209人			
			科学館まつり(プラネタリウム以外のイベント)	2回	4,519人			
			富山の天文愛好家 天体写真展			1回	389人	
			特別展示「水になつてくろべー一周の旅」			1回	2,326人	
			AR体験			52回	612人	
			青少年のための科学の祭典 おもしろ科学実験in富山	1回	898人	1回	55人	
			地域おこし協力隊の黒部発見記～県外出身者がちやべちやべと～			1回	1,429人	
		特別展示連携講座「わくわく！雪と氷の楽しい実験」			2回	38人		
		特別展示連携ツアー「水の旅を体験しよう」			1回	17人		
		フラカップでコースターをつくろう			1回	63人		
		小惑星リュウグウをつくろう			1回	46人		
		クイズラリー			8回	192人		
		巡回展示こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版			1回	1,357人		
のべ利用者数合計				34,626人	7,392人	14,519人	196.4%	

その他

事業名	期間	自/共	内容	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比
その他			各部屋の利用等	7,624人	2,106人	2,283人	108.4%
のべ利用者数合計				7,624人	2,106人	2,283人	108.4%

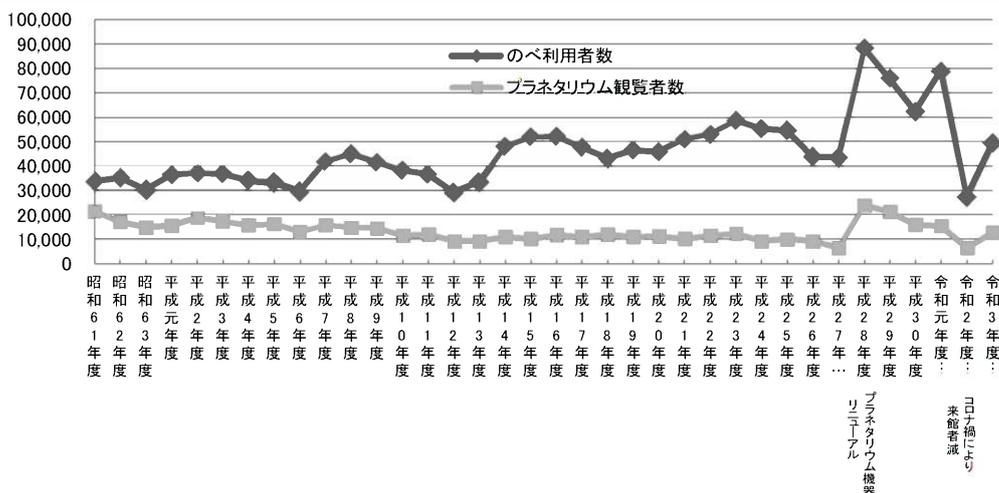
	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年比
日常の科学対象事業	10,054人	7,481人	6,953人	92.9%
地域の科学対象事業	8,668人	3,378人	7,054人	208.8%
宇宙の科学対象事業	17,690人	7,006人	18,448人	263.3%
特別事業	34,626人	7,392人	14,519人	196.4%
その他事業	7,624人	2,106人	2,283人	108.4%
のべ利用者数計	78,662人	27,363人	49,257人	180.0%
カウンター数	30,375人	11,443人	17,833人	155.8%

令和3年度休館日 毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始、
8月18日～9月13日(感染症対策のため臨時休館)、
1月24日～2月28日(トイレ改修のため臨時休館)

年度別のべ利用者数・観覧料

令和4年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
合計	1,642,299 人	480,864 人	57,271,530 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
前年度比	180.0 %	194.6 %	213.1 %



令和3年度 研修派遣等報告

▼学会・研究会発表

月日	内容	主催	担当職員
8/21	日本地学教育学会第75回全国大会(オンライン開催) 科学館における3Dプリンターを用いた展示作製	日本地学教育学会	野寺
8/23	第35回天文教育研究会(オンライン開催) 地球科学を題材とした全天周映像の製作	日本天文教育普及研究会	野寺・村井

▼講師派遣

月日	内容	主催	担当職員
10/19	5年生の遠足での実地説明(境川河口での化石探し)	黒部市立桜井小学校	野寺・國香
10/28	ジオガイドスキルアップ研修(黒部川扇状地の水循環)	立山黒部ジオパーク協会	野寺・長谷川
11/2	「総合的な学習の時間」への協力(清水調査)	黒部市立生地小学校	長谷川
12/7	「1学年 総合的な学習の時間」への協力(黒部の名水についての講演会)	黒部市立清明中学校	野寺

▼連携事業

月日	内容	連携団体
7/22~8/9	展示「ナマステ！インド アッチャー！アーチェリー」展	黒部市スポーツ課
7/25	講演会「世界は立山黒部とつながっているーとくにインド・ヒマラヤとの共通性ー」	黒部市スポーツ課・日本黒部学会
10/30	黒部市美術館「歴史楼か。」連携企画イベント 「宇宙の中のインフィニティ」	黒部市美術館・魚津埋没林博物館
3/12~13	黒部市国際文化センター コラーレ「ワールド・フェスティバル」連携企画 癒しのプラネタリウム「アルゼンチンの星空の物語」	黒部市国際文化センターコラーレ

▼教職員研修受入

期間	研修名	氏名(所属学校名)
7/30~31	令和3年度中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修	森下晴恵(富山県立高岡南高等学校)

行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和3年6月30日	富山県知事	令和2年度事業報告及び収支決算届
令和3年12月23日	富山県知事	役員変更届出書
令和4年3月31日	富山県知事	令和4年度事業計画及び収支予算届

登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
評議員 大村 啓	令和3年6月24日退任	令和3年7月27日登記
評議員 加藤 昌弘	令和3年6月24日退任	令和3年7月27日登記
評議員 大久戸 久雄	令和3年6月24日就任	令和3年7月27日登記
評議員 金山 努	令和3年6月24日就任	令和3年7月27日登記
理事 阿部 浩司	令和3年6月24日退任	令和3年7月27日登記
理事 福井 英夫	令和3年6月24日就任	令和3年7月27日登記

理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和3年5月21日	1 令和2年度事業報告及び収支決算について 2 令和3年第1回評議員会の開催について 3 評議員選定委員会の外部委員の選定について	役員(理事10名、監事2名)の内、理事9名出席、監事1名出席 議案について全員一致で承認
令和4年3月31日	1 令和3年度収支補正予算について 2 黒部市吉田科学館の基本方針について 3 令和4年度事業計画及び収支予算について	役員(理事10名、監事2名)の内、理事10名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和3年6月24日	1 令和2年度事業報告及び収支決算について 2 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会理事の選任について 3 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会監事の選任について	評議員3名全員が出席 議案について全員一致で承認